



JTUC-TOKUSHIMA
連合徳島

vol. 338

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1
徳島県労働福祉会館内
tel. 088 (655) 4105
fax. 088 (655) 4113
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

発行：日本労働組合総連合会徳島県連合会

編集責任者 川口 誠二



当面の日程

- 1月7日 連合徳島2025新年旗開き
- 1月10日 クラシノソコアゲ駅前街宣
- 2月12日 2025春闘開始宣言集会
「連合白書学習会」
- 2月13-14 全国一斉集中労働相談ホットライン
- 2月27日 2025春闘連合全国一斉アクション
(総決起集会)

2025春季生活闘争 徳島県共闘会議発足総会

連合徳島は、2024年12月13日に「2025春季生活闘争徳島県共闘会議発足総会」を開催した。

総会議長に徳島県中小労働対策本部鹿草本部長を選出した後、開会にあたり連合徳島・島会長は、「第2回新しい地方経済・生活環境創生会議」において連合本部・芳野会長が、「女性の活躍推進」について、男女間賃金格差と地方からの若年女性の流出に「緩やかな相関関係が観察される」ことが指摘されている、男女間賃金格差は性別役割分担意識など、女性が活躍しづらく、働き続けづらい環境にある結果として現れている、国が先頭にあたり、女性活躍の推進に取り組むべきである。

また、国民にとって住みやすく、魅力のある地方にしていくためには、地方公務員がその地域のために全力で働ける職場環境をつくっていくことが重要と考える。

そのため、会計年度任用



挨拶をする島会長

職員については、処遇改善に加え、正規化をはじめとする雇用の安定こそが必要であると述べられた。連合のビジョン「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」の実現に向け本部と連携し運動を展開するとあいさつした。

続いて川口事務局長より、2024闘争では33年ぶりの5%台の賃上げが実現したものの、生活が向上したと実感している人は少数にとどまり、個人消費は低迷している。それは、物価高が勤労者家計を圧迫してきたことに加えて、中小企業や適切な価格転嫁・適正取引が進んでいない産業などで働く多くの仲間がこの流れが十分に波及していないことも要因のひとつである。わが国経済社会を安定させ、人口減少のもとで社会や産業・企業を維持・発展させていくためには、中長期を見据えた「人への投資」が不可欠である。徳島県共闘会議は、共闘体制の強化により、第1先行組合、第2先行組合による相場形成と波及力強化に向けた情報開示を進めるとともに、中小労働対策本部における議論を活発化し、中小・地場の闘争へと繋げていく。ヤマ場前段における集会・学習会等を設定し、共闘体制の強化拡大をはか



はたらくのそばで ともに歩む 連合徳島



提起する川口事務局長



議長を務める鹿草本部長

最後に島共闘会議議長のカンパロー三唱で「2025春季生活闘争徳島県共闘会議発足総会」を終了した。

クラシノソコアゲ応援団!

12月駅前街宣

2024年12月9日、連合徳島は「クラシノソコアゲ応援団! RENGOKYOKANペー」街宣行動をJR徳島駅前前で実施し、各構成組織等から30人が参加した。今月は12月10、11日に実施される全国一斉集中労働相談ホットラインを周知するチラシとティッシュを配布し、街宣車からは4人の弁士がそれぞれの立場とテーマで訴えた。

最初に、連合徳島の島会長(電力総連)は「連合は労働組合の連合体であり、働く人を支えるため、労働相談を受け付けているが、多くの労働者の声を集めて社会の課題を発信するために、年3回、全国一斉の労働相談ホットラインに取り組みしている。働く上で悩みがあれば、1人で悩まず、相談できる場として電話をかけてきてほしい」と述べた。次に、連合徳島の中小労働対策本部から鹿草本部長(運輸労連)が「まもなく2025春季生活闘争がスタート

連合徳島地域ユニオン 第16回定期大会

2024年12月17日、連合徳島会議室において、連合徳島地域ユニオン第16回定期大会を開催し、地域ユニオン組合員等6人が参加した。

冒頭、連合徳島地域ユニオン執行委員長から「連合本部は『地域ゼネラル連合』の創設に向けて準備を進めている。地域ゼネラル連合は、(新)地域ユニオンの組織化や加盟組織の構成組織移行に向けた連携強化を担うとともに、(新)地域ユニオンの活動を標準化させつつ充実・強化させるためのセンター機能を有するそのスタートは2026年1月としている。

また、来夏に実施する参議院議員選挙に立候補予定者広田一さんの推薦について議論し承認していただき

軸とする安心社会の実現をめざす」と挨拶した。続いて、2024年度活動経過報告・2024年度会計報告を川口書記長から報告。2024年度会計監査報告を松本会計監査から報告した。第1号議案・2025年度活動方針(案)、第2号議案・2025年度会計予算(案)、第3号議案・2025年度役員体制(案)、そのた・第27回参議院議員選挙立候補予定者の推薦について川口書記長が提案し、参加者全員の拍手で承認され、島執行委員

する。生活向上をめざし、中小企業における価格転嫁に全力で取り組む」との決意が述べられた。

続いて、労働福祉団体を代表し、徳島県労働者福祉協議会の森本会長からは、全国規模で取り組まれている高等教育費の負担軽減プロジェクトを紹介し、署名活動への協力を呼びかけた。

最後に、連合徳島推薦議員ネットワークから徳島県議会・新しい県政をつくる会の仁木会長が、徳島県の最低賃金について「84円という大幅な引き上げで経営が厳しくなる企業も多い」とした



団結ガンパローで閉会



報告をする川口書記長



!!! みんなでつくろう! 賃上げがあたりまえの社会



チラシを配り周知する参加者

うえで、一県の政策として企業支援を行うことを議会で決めた。徳島県で人材を確保するため、これからも県民目線の政治をすすめる」と述べた。

第36回中間総会

女性委員会

連合徳島女性委員会は2024年12月5日、労働福祉会館で第36回中間総会を開催した。長田副委員長（自治労）の開会あいさつの後、議長に堀内代議員（全国一般）、総会役員に丸山代議員（UAゼンセン）を選出。各構成組織から27人が参加した。

まず、女性委員会を代表して藤田委員長（UAゼンセン）が「今年5月に女性委員会として5年ぶりに構成組織オルグを実施し、女性を取り巻く実態や課題をまとめた。オルグのなかで、連合徳島大会への女性代議員選出をお願いしたところ、22.6%の参画があった。今後女性参画をめざし、それぞれの組織で声を続けてほしい。また、連合のジェンダー平等推進計画はフェーズ2に移行することから、

目標達成に向けた取り組みを進める」とあいさつした。

続いて、来賓として連合徳島の島会長、東条恭子・徳島県議会議員が駆けつけ、それぞれあいさつした。議長では、三木事務局長（全国一般）が2024年度経過報告、2025〜2026年度活動方針補強（案）および役員体制（案）を提案し、全体の拍手で承認された。最後に、総会宣言とスローガンが採択され、藤田委員長の団結がんばろうで総会を終えた。



主催者代表挨拶をする藤田委員長



団結がんばろうで閉会



来賓挨拶をする東条県議



来賓挨拶をする島会長

2025年度連合徳島女性委員会役員

役職名	氏名	出身組織
委員長	藤田 晶子	UAゼンセン
副委員長	長田 史子	自治労
事務局長	三木 裕子	全国一般
委員	山口 友紀	中央地協(自治労)
〃	田中 理江	中央地協(全国一般)
〃	川野 綾	南部地協(自治労)
〃	西崎 弘美	南部地協(自治労)
〃	廣瀬 和美	西部地協(電機連合)
〃	柳井 百里	西部地協(自治労)
〃	近藤 沙帆	電力総連
〃	戸出 浩子	国公総連
〃	安藝 真理子	JP労組
〃	井上 久美	情報労連
〃	横井 麻衣	電機連合
〃	岡 友美	全水道
〃	中本 有美	県教組
〃	木村 友香	農協労連
〃	内藤 文代	四国労金労組
〃	増田 紫苑	交通労連
〃	藤田 史子	自動車総連
〃	丸山 麻美	UAゼンセン



主催者代表挨拶をする藤井委員長

祝電・メッセージを圓山副委員長（全水道）が読み上げ、長岡事務局長（自治労）から2024年度活動経過報告

来賓祝辞として、連合徳島基本組織を代表して川口事務局長にお越しいただき、この1年青年委員会に関わってきた中で思ったことや感じたことを話され、今後「青年委員会らしい活動を今後も頑張りたい」と挨拶されました。

2025総会
青年委員会
連合徳島青年委員会は2024年12月11日徳島労働福祉会館にて2025総会を開催し、各構成組織から28人が参加した。冒頭、開会の挨拶を橘委員（JP労組）が述べ、総会議長に農協労連の山口恵汰さんが選出され総会が進められた。青年委員会執行部を代表して藤井委員長（電機連合）は、能登半島地震や大谷翔平など今年話題となったことに触れ「さまざまな場面で支えていくことのできる、サポートできる青年委員会」にしていくと挨拶した。



来賓挨拶をする川口事務局長

がされ、全体の拍手で承認された。議事に移り、第1号議案「2025年度活動方針および活動計画（案）」を藤井委員長が提案、湯藤事務局次長（労金労組）から第2号議案「2025年度役員体制（案）」の提案がされ、共に全体の拍手で承認された。新旧役員あいさつでは退任の抱負を述べた。

最後に藤井青年委員長の団結ガンパロウで総会を閉じ、新たな体制がスタートした。

2025年度役員体制

役職	名前	構成組織
委員長	藤井 一記	電機連合
副委員長	湯藤 達也	労金労組
事務局長	西條 祐司	自治労
事務局次長	橘 拓	J P 労組
委員	中山 龍児	UAゼンセン
委員	小原 政樹	電力総連
委員	村井 貴	J A M
委員	山口 恵汰	農協労連
委員	切中 俊	全国一般



退任する役員の方皆さん



新体制のメンバーで記念撮影

第45回部落解放・人権徳島地方研究集会

すべての力を集めて「部落解放・人権政策」を確立しよう。
反差別・人権の確立・福祉の向上をめざした県民運動を展開しよう。

◆ 全体集会 1月27日(月) 13:00~16:00 あわぎんホール

◆ ◆ 基調講演 ◆ ◆
部落解放運動の現状と課題
部落解放同盟中央本部 中央執行委員長 西島 藤彦

◆ ◆ パネルディスカッション ◆ ◆
市民の声で狭山事件を動かそう
パネラー 部落解放同盟徳島県連合会
徳島県国民健康保険団体連合会
徳島新聞社
狭山事件を考える徳島の会
コーディネーター 徳島人権・平和運動センター

◆ 分科会 1月28日(火) 10:00~16:00 あわぎんホール

◆ 2025年1月27日(月)・28日(火) ◆
主催 部落解放・人権徳島地方研究集会実行委員会
徳島市昭和町3丁目35-1 連合徳島内 TEL (088)655-4105